

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成29年1月31日 NO.87 (387)

Hくんが持って
来てくれた
タカラガイ



Yくん兄弟が持
って来てくれた
スイジガイ

モンタ博士が
沖縄の民宿の
おばちゃんに
もらった
タカラガイ
いろいろ

花ちゃん 「うわー！きれいな貝かいですね。」

オー君 「大きな貝かいもあるね。それから、おもしろい形かたちの貝かいもありますね。この貝
どうしたのですか。モンタ博士！」

モンタ博士 「左上のタカラガイは、4年生のHくんのお姉さんのお友達のおじいちゃん
にももらったそうだよ。大きなタカラガイだね。よく見るととってもきれいな
貝かいなんだ。みんなもよく見てごらん。」

オー君 「きれいだな。タカラガイは、漢字で『宝たから貝かい』でしょ。海からの贈物おくりものですね。」

花ちゃん 「左下の貝かいも、同じような形かたちをしているから、タカラガイの仲間なかまなんですね。」

モンタ博士 「いろいろときれいな貝かいで、お宝たからのオンパレードみたいだね。」

オー君 「美しいタカラガイは、モンタ博士が沖縄で見つけたのですか。」

モンタ博士 「そうではないんだよ。民宿のおばちゃんおきなわがね、貝かいが大好きでね、モンタ
博士が貝かいに興味きょうみをもったら、特別とくべつにわけてくれたんだ。それで、モンタ博士
の宝物たからものになったわけだよ。」

花ちゃん 「大きなおもしろい形かたちの貝かいはどうしたのですか。こんなかわった貝かいを見たのは、
わたし初めてです。それにしても、すごい形かたちですね。」

オー君 「そうですね。かっこいい貝だね。モンタ博士！この貝はどうしたのですか。」

モンタ博士 「この貝はね、1年生と3年生のYくんが持って来てくれたんだ。モンタ博士も初めて見る貝で、とてもわくわくドキドキうれしくて驚いているんだよ。」

花ちゃん 「名前はなんというのですか。」

モンタ博士 「モンタ博士もわからなくてね。Yくんにおしえてもらったんだ。名前は、スイジガイというそうだよ。」

オー君 「スイジガイ？聞いたことがない名前だな。」

モンタ博士 「太くて長い角のような突起があるだろう。よく見ると貝の形が『水』の字に似ていることから、『水字貝』（スイジガイ）と名づけられたそうだよ。」

花ちゃん 「すてきな形ですね。おうちに飾っておきたいですね。」

モンタ博士 「そうだろう。このスイジガイは、貝殻が固くてしょうぶなことから、むかしから、装飾品や貝細工の材料としても利用されているし、食べることもできるそうだよ。」

オー君 「へえー。すごい貝なんだね。この貝が動いているところを見たいな。」

モンタ博士 「そうだね。おもしろそうだね。それから、この貝は、お土産用として売っているそうだけど（Yくんは伊江島という沖縄の島で採集したそうです）、沖縄では、火除けや魔よけのお守りとして、門や玄関につるす風習があるそうなんだ。別名は、ヒヨケガイともいうそうだよ。」

花ちゃん 「沖縄とか、暖かい海にしかいない貝なのですか。」

モンタ博士 「そのとおり、熱帯の海に広く分布するそうだ。日本では紀伊半島より南でないと見ることができないそうだよ。」

オー君 「へえー。貝の世界っておもしろそうですね。」

モンタ博士 「海の貝について、モンタ博士は、今まで知らないことばかりだったね。今回、HくんやYくんのおかげで、興味がもててとてもうれしいと思います。どうもありがとうございました。モンタ博士はこれから、貝についてもいろいろ勉強していくぞ。よし、まずは図書館で貝の本を借りてこよう！」

花ちゃん・オー君 「わたしたちもいっしょに勉強させてくださいーい。」